



～ 多様な個性・価値観・ライフスタイルを尊重しあい、  
無意識の思い込みやハラスメントに気づき、誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスに ～

# Beside you 通信 第56号

## ●お知らせ - 新しいコーディネーターが 着任しました -

4月から、ダイバーシティキャンパス推進室に新しいコーディネーターが着任しました。山崎有紀子コーディネーターです。今号で紹介していますのでぜひご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。



また、コーディネーターの着任に伴い、人事課人事総務係へ一時的に移管していました窓口機能を推進室へ戻しています。期間中はご不便とご迷惑をおかけいたしました。今後とも推進室をよろしくお願いいたします。

### この号の内容

- ◆お知らせ  
新しいコーディネーターが着任
- ◆活動報告①  
～発達障害の理解と支援～  
コミュニケーションセミナー開催
- ◆活動報告②  
全学女子トイレに生理用品を設置
- ◆活動報告③  
大学入門ゼミでダイバーシティ講義
- ◆室員紹介  
山崎 有紀子さん 推進コーディネーター
- ◆今後の予定  
5/20 ダイバーシティセミナー

## ●活動報告① - コミュニケーションセミナーを開催しました -

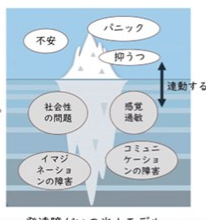
発達障がいのある学生やコミュニケーションが苦手な学生に対して、どのような支援に繋げ、どのような配慮が出来るのでしょうか。学生生活の様々な場面をイメージして、井上 菜穂 学生支援センター准教授によるコミュニケーションセミナーを、昨年12月7日にオンラインで技術部と共同開催。幅広い事例紹介により、さまざまな特性を持つ学生の理解や対応方法について学びました。

⇒  
セミナー  
スライドより

### 発達障害への対応

- ・自己効力感の低さ
- ・できないことを繰り返してきたこと、失敗経験の多さ
- ・次にチャレンジしようと思えない
- ・怒られる経験の多さ、常習的に不適切な扱いを受けてきた

→自分に攻撃的になる、悲観する  
他人に攻撃的になる



発達障がいの氷山モデル

### 支援の方向性

- ・目標：ある程度の自立
- すべて一人でできなくてもOK。
- 人に手伝ってもらうこと、頼ることも大切なスキル。

周りができること  
(合理的配慮)



本人ができること  
(対応スキルを増やす)

## ●活動報告② - 全学で女子トイレ内に生理用品が配置されました -

生理について多くの学生や教職員が抱える悩みの解消のため、学生が声をあげ自ら動いた結果、鳥取大学全学の女子トイレへの生理用品の配置が実現しました。当時活動してくれたスタッフはほとんど卒業してしまいましたが、アンケート調査結果から配置場所について仮説を立て、3年に及ぶ実証実験等を経て大学へ提案した結果、生理用品が「トイレトペーパーと同じ“必需品”」として配置されたのです。関わられた全てのみなさん、ありがとうございました。

## ●活動報告③ - 大学入門ゼミでダイバーシティ講義 -

新入生対象の大学入門ゼミで、DEI (Diversity (多様性)、Equity (公平性)、Inclusion (包括性)) の講義がスタートしました。全学部で推進室メンバーが昨年度から制作した動画教材を活用していただいています。

鳥取大学の学生がダイバーシティキャンパスを卒業後、様々なライフイベントを経験しながら地域社会でともに活躍できるよう、DEIの視点を学ぼうとする内容になっています。

「さあ、今日から、一緒に」と。

まずは自分を知る、それから次に進んでみる

▼多様性の中に在って、自分はどうな考えを持つどのような人間なのかを知る。

▼次に、自分の一番の理解者である自分が、自分自身の事を尊重できたら、そうした自分に何が出来るのか、これからどう在りたいか、見極める。

▼そして、もし身近な出来事の中に違和感を感じたら、今居るところから、目の前のことから、行動を起こしてみる。不作為を止め、変化へ向けて動いてみる。

## ★室員紹介 山崎 有紀子さん ダイバーシティキャンパス推進コーディネーター



2024年湖山キャンパスの桜

この4月からダイバーシティキャンパス推進コーディネーターとして勤務する新入職員です。キャンパスの美しい自然や、ときおり聞こえてくる演奏、学生たちの笑い声にエネルギーをいただいています。

これまでの仕事は、町役場で約30年、福祉、国際交流、子育て支援、税務、教育など、ゆりかごから墓場までの公共サービスに携わり、管理職や議会対応も務めました。その後は、小学校で外国語講師や、キャリアコンサルタントとして働く人の支援事業などに関わりました。

3人の子どもたちは、核家族共働きの我が家で、受験期は別に暮らす4人の祖父母のケアもごちゃまぜになりながら、時は過ぎ成人になりました。ゆとりのない日々には反省ネタは山盛りです。親として子として自身として悩み、キャパオーバーになることも。そんな時はちょっと深呼吸、窓の外の四季の移ろいを感じながら、ささやかな「感謝探し」をしたりして。

豊かな自然に囲まれ穏やかな時を感じられる鳥取大学は、この地域から世界や地球を感じ、未来を創造する場所。関係するみなさんが、心身健やかに学びや仕事ができるよう、多様な個性や価値観、ライフスタイルを尊重しあうキャンパスづくりの一助となれればと思います。ご相談のほか、体調不良時、ホッとした時間を過ごしにでも、お気軽に推進室のスペースをご利用ください。



青と緑薫る大山にて娘と

## ★今後の予定 - ダイバーシティセミナーを開催します -

### (仮題) 変わる社会と男性育休の現在地

父、母、子、上司、部下・・・さまざまな関係性と立ち位置から、男性育休を考えてみましょう。子育てをめぐる幸せ、せつなさ辛さも含めて、「家父長」でも「イクメン」でもなく「しなやかな父性」を描く講師から、あなたの日常のヒントに。

【日 時】2024 (R6) 年5月20日 (月) 14:00~15:00

【場 所】湖山キャンパス 広報センター1階  
コミュニティ・デザイン・ラボ (CDL)

【講 師】安藤 哲也 氏 (NPO法人 ファガールリング・ジャパン代表理事)

【対 象】鳥取大学の学生・教職員



コミュニティ・デザイン・ラボ  
【広報センター1階】

### お問合せ・相談は下記までお寄せください

〒680-8550

～休憩スペースもあります～

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室 (地域学部棟4階)

TEL: 0857-31-5769 または内線2166

FAX: 0857-31-5797

Email: diversity@m1.adm.tottori-u.ac.jp

H P: <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

担当理事: 藪田 千登世

室 長: 後藤 知伸

推進コーディネーター: 山崎 有紀子



Beside you

Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室